

## ステップ4の特長

本書は、二年生の漢字の半分である八十字（巻末に収録漢字を記載）を練習することが出来ます。文字と言葉や文とセットで、「読むこと」「なぞること」、そして、「書くこと」へとつなげていきます。

「漢字学習は、読み先習と言われるように、「文のよみ」から始めています。そして、「かん字のかき」で漢字を学び、「文のかき」「わかるかな？」と、進みます。

「文のかき」では、右利き、左利きのどちらでも対応できるように、手本の左右に書く形式にしています。つまり、鉛筆を持っている方の手が置かれても、手本を見ることができるようになっています。

学習が変わるページには、「字のかたち」や「かん字のぶぶん」のページを入れました。字形を整えるヒントになっています。

「わかるかな？」では、楽しみながら学ぶ「楽習」ページにしています。書字に必要なトレーニング的要素も盛り込んでいます。

一般的に、学習の順序としては、

- ① 聞くことができる
- ② 話すことができる
- ③ 読み書きができる

この順番で学習が進むことで、「できる」ようになっていきます。

しかし、一般的に考えられている「学びやすさ」よりも、その子にあった「学びやすさ」があります。例えば、書字が困難な子は、まずは文章を読むことだけを中心に学習し、「わかるかな？」のような遊びの要素のある学習で興味をもってもらうことも大切です。

まずは、基本的なページから始めつつ、子どもの発達段階や興味関心などを考慮して、学習を進めていきましょう。

## ステップ4・もくじ

よむれんしゅう	・・・	6
文のよみ	①～②①	7
かん字のぶぶん	・・・	28
かん字のかき	①～①⑥	29
字のかたち	・・・	46
文のかき	①～②①	47
わかるかな？	①～①⑤	68